

# NO!リニア

No.158

2022年11月8日

JR東海労働組合

JR東海労HP  
にアクセス↓



## リニア工事は品川～名古屋沿線全体に被害もたらす！ 沿線住民を代表して6名の原告が証言！ ストップ・リニア！訴訟第25回口頭弁論

11月7日、東京地裁にてストップ・リニア！訴訟第25回口頭弁論が行われ、多くの組合員が傍聴に参加しました。

弁論では東京、山梨、静岡、長野、岐阜、愛知からの6名の原告が、それぞれの地域におけるリニア新幹線工事の影響などについて生々しい証言を行いました。主な証言は以下の通りです。

### 【東京】

- ・JR東海の説明会の告知はひどい。区報で告知したと言うが、区報には「リニア」の文字は載っていないし、どこを通るのかも書いていない。

### 【山梨】

- ・JR東海は、実験線ができる前に「リニアは線路の上を走るのではなく、パンタグラフもないから騒音は出ませんよ。」と言っていた。しかし、実際に走ると騒音がひどく、低周波振動がひどい。

### 【静岡】

- ・トンネル掘進による大井川の流出量、毎秒2トンの流出量は62万人の生活用水に匹敵する。静岡工区の工事認可は地元の意見を十分に聞くというのが条件のはずだ。
- ・南アルプスの地下水は380メートルも低下するとされている。
- ・国交省の有識者会議でもJR東海が全量は大井川に戻しても地下水低下は防げないとしている。

### 【長野】

- ・中間駅建設予定地の建設の為に立ち退きを迫られた人たちは、本当に困っている。
- ・地区にある2軒のガソリンスタンドもなくなる。
- ・飯田工区の残土の70%は行き場がいまだに決まっていない。

### 【岐阜・愛知】

- ・東海環状自動車道のトンネル残土からカドミウム、重金属など有害物質が発見された。
- ・残土置き場に降る雨でヒ素、フッ素、ホウ素などが流れ出している。
- ・リニアのルートには、日本最大のウラン鉱床であるが、JR東海は、ウラン鉱床で11ヶ所しかボーリング調査をしていない。しかも、そのうちの3ヶ所しかウラン調査をしていない。

### 【愛知】

- ・JR東海の検査頻度は低いので汚染残土は見つけれられないのではないかと。
- ・JR東海は誰もが納得する工事残土の検査体制を整えるべきだ。

以上の証言に対する、国とJR東海の反対尋問はほとんどなく、証言の正当性がよりいっそう明らかになりました。

次回、第26回口頭弁論は2023年2月3日14時から行われ結審する予定です。